

小 名浜港のすぐ近くにある観光物産施設いわき・ら・ら・ミュウ内には地元産の鮮魚を商う店舗が並び、大勢の観光客で賑わっていました。しかし東日本大震災当日、ここにも津波が押し寄せ、1階は壊滅的な被害を受けました。難を逃れて2階に避難し、不安な一夜を過ごした人もいたようです。

建物は平成24年(2012)に再建。1階には震災以前のよう鮮魚店やみやげ店が並び、2階では3・11いわきの東日本大震災展を常時開催しています。小名浜地区の被災状況や支援への感謝、施設復活への取組みなどをパネルでわかりやすく展示。また避難所生活を再現したコーナーもあり、立体的に想像ができるようになっています。しかし施設は復活したものの、原発事故による風評被害などで客数も売上も震災前にはまだ及ばない状況。今後観光客が増えることで、復興に弾みがつくことが期待されています。



いわき・ら・ら・ミュウを守ろうとした商店の人々の努力、それでも避けられなかった被災の影響、そして復興・復活への歩みをパネルで紹介。語り部ガイドは事前に申し込みのうえ対応可能



避難所での生活を再現したコーナー。東北の春は遅いが、とくに震災の年は、4月になっても寒さが厳しかった。避難所での生活は長期にわたり、体も芯まで冷えるため、厚手の上着は必須だった



小名浜には大勢の自衛隊やボランティアが入り、がれきの撤去や生活物資の配布、医療活動などに力を尽くしていた。そうした人々への感謝を忘れないために、その活動の様子をパネルで展示している

考えてみよう

Q1 福島県最大の面積をもついわき市。津波被害や原子力災害の影響を受ける被災地でありますが、原発に近い双葉郡の町村などから避難者を受け入れています。長期化する避難のなかで見えてきた課題はどんなことでしょうか?

A1 避難者の受け入れには多くの費用がかかる。また、もともと住んでいる市民と避難者でのコミュニティ形成にもまだ課題が見受けられる。

いわき市

「3・11いわきの東日本大震災展」

小名浜港観光物産施設の被害と復興の記録
いわき・ら・ら・みゅう「さんてんいちいちいわきのひがしにほんだいいんさいてん」

いわき市の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	15km ²
最大浸水深	9.22m
全壊	4,644棟
半壊	32,921棟
一部損壊	26,004棟
死者	437人
行方不明者	37人
負傷者	4人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示交流拠点

語り部あり 車椅子OK
※要予約

施設DATA

●いわき・ら・ら・みゅう
「さんてんいちいちいわきのひがしにほんだいいんさいてん」
いわき・ら・ら・ミュウ
「3.11いわきの東日本大震災展」
☎ 0246-92-3701 MAP P116E4

⑤いわき市小名浜辰巳町43-1 いわき・ら・ら・ミュウ2階
ⓧ常磐自動車道いわき湯本IC
またはいわき勿来ICから車で30分
🕒9～18時(1月13日～2月7日の平日は～17時)
🕒不定休(月1回程度)※ホームページで要確認
🆓無料
📍あり(大型バス:あり)
www.lalamew.jp